

凍り豆腐の健康機能性をオランダで確認 国際科学雑誌 Nutrientsにて論文発表

旭松食品株式会社（本店：飯田市、本社：大阪市、社長：木下博隆）は、ワーゲニンゲン大学との共同研究により、ヨーロッパ人を対象とした臨床試験により、凍り豆腐摂取による代謝改善によって、心疾患などの病気のリスクが低下することを確認しました。

本研究成果は、国際科学雑誌『Nutrients』に” Effect of 4-week consumption of soy Kori-tofu on cardiometabolic health markers: a double-blind randomized controlled cross-over trial in adults with mildly elevated cholesterol levels ”（4週間にわたる凍り豆腐の摂取が心血管関連因子に与える影響～2重盲検クロスオーバー臨床試験）として発表されています。

当社はこれまで、日本人を対象に凍り豆腐の健康機能性を研究してきました。2019年にはオランダ・フードバレーに加入し、ワーゲニンゲン大学との共同研究を続けてまいりました。今回の研究では、ヨーロッパ人に対する凍り豆腐の健康機能性を世界で初めて確認しました。

当社は凍り豆腐を世界の健康長寿に役立てていただける食品と捉え、引き続きフードバレーに参画して各地にローカライズした食品の開発や普及を行ってまいります。



論文のWebサイト
は [こちら](#)

海外市場への挑戦
紹介は [こちら](#)
Youtube



本件に関するお問い合わせ先

- 報道関係者様からのお問い合わせ先 旭松食品(株) 担当：石黒 TEL：080-3537-0317
- お客様からのお問い合わせ先 旭松食品(株) お客様相談室 TEL：0120-306-020
受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

論文内容

・ タイトル

Effect of 4-Week Consumption of Soy Kori-tofu on Cardiometabolic Health Markers:
A Double-Blind Randomized Controlled Cross-Over Trial in Adults with Mildly
Elevated Cholesterol Levels

4 週間にわたる凍り豆腐の摂取が心血管関連因子に与える影響～2重盲検
クロスオーバー臨床試験

・ 発表者

M Belt¹, S Haar¹, E Oosterink¹, T, Loenhort², T Ishiguro³, D Esser¹
1: ワーゲニンゲン大学、 2: ヘルダーバレー病院 心臓病科、
3: 旭松食品 研究所

・ 方法

ワーゲニンゲン大学で募集した、コレステロールが高めの健常成人48
名（オランダ人）を対象とした。凍り豆腐入りのパン、あるいは対照
のパンを4 週間継続して摂取した場合の摂取前後で血中マーカーの濃
度および血圧を測定した。

・ 結果

	項目	単位	凍り豆腐摂取		
			摂取前値	摂取後変化値	有意確率
脂質代謝	総コレステロール	μmol / L	5.7	-0.14	0.02
	LDL		3.7	-0.27	<0.01
	中性脂肪		1.4	0.06	0.25
糖質代謝	血糖値	μmol / L	5.4	0.04	0.36
	フルクトサミン		260	-6.1	<0.01
	HbA1c	mmol / L	37	-0.42	0.02
血圧	収縮時血圧	mmHg	122	-3.1	0.03
	拡張期血圧		75	-1.1	0.15

4 週間の凍り豆腐の摂取により、対照群との群間有意差は認められなかつ
たものの、摂取前後の比較で総コレステロール、LDL（悪玉）コレステロー
ル、フルクトサミン、HbA1c、血圧の有意な低下を認めた。このことから、
凍り豆腐摂取は心疾患のリスクを抑える可能性があることが示唆された。